

公益社団法人愛知県医師会 第8回(定例)理事会議事録

開催日時：平成27年6月11日(木) 午後2時30分～午後4時40分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤宣夫 横井 隆

理事／市川朝洋 伊藤健一 城 義政 加藤雅通 大輪芳裕

檜尾富二 樋口俊寛 伊藤富士子 瀨瀨雅明 細川秀一

森 孝生 城 卓志 野田正治

監事／岩瀬敬紀 可世木成明 榊原一基

代議員会議長／水野和夫

代議員会副議長／川上雅正 杉田洋一

欠席者

理事／吉田 貴 西山 朗

議事録作成者 加藤結花

※伊藤副会長遅刻の為、承認事項1～8については、22名(うち理事16名)にて審議した。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者23名(うち理事17名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

—承認事項—

1. 庶務関係事項について

(市川理事)(檜尾理事)

(1) 後援並びに共催について

①独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター(院長 直江知樹)・東名古屋病院・東尾張病院の行う「市民公開講座」[7/11(土)]の後援について

②公益社団法人愛知県理学療法士会(代表理事 鳥山喜之)主催の災害医療に関する講演会[7/11(土)]の後援について

- ③(株)メジカルビュー社の行う研修会「ロコモ対策 運動器疾患／骨・関節フォーラム」
〔8/1(土)〕の後援について
- ④中日新聞社(代表取締役社長 小出宣昭)主催の一病気を知ろう、元気を学ぼう—中日
健康フェア 2015〔9/5(土)、9/6(日)〕の後援について
- ⑤中京テレビ放送株式会社子育て応援団 チュウキョ〜くんのすこやかフェスタ
〔10/17(土)~18(日)〕の共催について
- ⑥公益社団法人全国病院理学療法協会中部地方会(執行委員長 可知謙三)主催の第 53
回中部理学療法学会〔11/22(日)〕の後援について
- ⑦一般社団法人名古屋市医師会(会長 杉田洋一)主催の平成 27 年度第 2 回名古屋市かか
りつけ医等心の健康対応力向上研修(医師対象 I)〔8/8(土)〕の共催並びに日本医師会
認定産業医制度における研修会の指定申請について

市川理事より説明され、1-(1)①~⑦について一括承認を求め、承認された。

- (2)公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会(会長 炭谷 茂)主催の第 38 回総
合リハビリテーション研究大会〔9/18(金)・19(土)〕の後援について
市川理事より説明され、承認された。

- (3)一般社団法人日本慢性期医療協会(会長 武久洋三)主催の第 23 回日本慢性期医療学
会〔9/10(木)・11(金)〕の後援について
市川理事より説明され、承認された。

- (4)名古屋大学医学部附属病院卒後臨床研修管理委員会委員の推薦について
市川理事より説明され、本会横井副会長の推薦が承認された。

- (5)平成 27 年度愛知県高齢者等見守りネットワーク構築推進会議の委員の推薦について
市川理事より説明され、本会樋口理事の推薦が承認された。

- (6)日本多施設共同コーホート研究(J-MICC 研究)外部評価委員会委員の推薦について
市川理事より説明され、本会森理事の推薦が承認された。

2. 委員会・部会、講演会等(本会主催分)の開催について

柵木会長より、以下の No. 1~9 の本会主催の委員会・部会、講演会等の開催につい
て一括承認を求め、承認された。

No.	開催日	名称	開催場所	担当理事
1	6/22(月)	地域医療再生に関する多職種連携協議会	6 階研修室	樋口理事 野田理事
2	7/3(金)	第1回精度管理委員会	804 会議室	樫尾理事 加藤理事
3	7/6(月)	第2回会員相談窓口事例検討会	802 会議室	加藤理事 大輪理事
4	7/6(月)	病院の認知症対応力向上事業 認知症対応病院実地指導企画支援会議	501 会議室	野田理事 樋口理事
5	7/8(水)	第1回医療関連職検討委員会	805 会議室	大輪理事 伊藤(健)理事
6	8/8(土) 9/19(土) 10/10(土)	医療従事者の認知症対応力向上研修	9 階大講堂 8 階会議室 豊川商工会議所	野田理事 樋口理事
7	9月～11月	平成27年度医療事務員講習会	9 階大講堂	樫尾理事 加藤理事
8	9/9(水)	平成27年度 愛知県救急医療推進大会	9 階大講堂他	城(義)理事 細川理事
9	11/15(日)	第4回 愛知県医師会 PTLs 講習会	9 階大講堂	城(義)理事 細川理事

3. 勤務医部会幹事の変更について

伊藤(健)理事より説明され、佐藤孝一先生(東部医療センター前院長)から、田中宏紀先生(東部医療センター新院長)への変更が承認された。

4. 愛知県救急医療情報センター参加医療機関に対する普通傷害保険の加入について

城(義)理事より説明され、前年と同額で、1,000,000円の普通傷害保険への加入が承認された。

5. 愛知県保険医協会第66回定期総会に対するメッセージ [6/21(日)] について (愛知県保険医協会主催：名鉄ニューグランドホテル)

大輪理事より説明され、定期総会に対する例年同様のメッセージが承認された。

6. 第174回(定例)代議員会決議文(案) [6/20(土)] について

大輪理事より説明され、決議文(案)が承認された。

7. 産業保健部会オブザーバーの委嘱について

市川理事より説明され、オブザーバーの安藤秀之氏(愛知県産業労働部)から古池哲朗氏(愛知県産業労働部)、阪野英之氏(愛知産業保健総合支援センター)から奥

田英一氏(愛知産業保健総合支援センター)の変更が承認された。

8. 男女共同参画委員会委員の追加委嘱について

伊藤(富)理事より説明され、山本續子先生を追加することが承認された。

9. 予防接種要望額(案)について

瀬瀬理事より説明され、集団接種 45,300 円以上、個別接種 10,120 円以上で要望することが承認された。

10. 病院の認知症対応力向上事業 認知症対応病院個別指導企画支援会議の名称変更について

野田理事より説明され、「認知症対応病院個別指導企画支援会議」から「認知症対応病院実地指導企画支援会議」へ名称を変更することが承認された。

—協議事項—

11. 入会金の徴収猶予申請について

市川理事より説明され、名古屋市医師会より申請があった入会金徴収猶予申請が承認された。

12. その他

—報告事項—

【日本医師会、各医師会、中部医師会連合等会議について】

1. 第5回医事法関係検討委員会〔5/27(水)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

柵木会長より、今回の検討委員会の大きなテーマは、医療基本法以外に、2年間で見直しとなる医療事故調査制度であると説明され、今年の10月から始まるにも関わらず、来年4月には見直しとなるため、外部者からは日医の意見を求められることに鑑み、委員会で検討することになっていると報告された。

今回の委員会では、医師法第21条に対する〈参照・罰則(第33条の2)〉を削除してはどうか、罰則がなければ警察が介入することもないのではという意見があった。次回8月開催の委員会までに、文言等の見直しを都道府県医師会で検討していただくよう担当理事より通達があったと説明された。

2. 中部医師会連合第13回常任委員会〔6/3(水)〕について

(中部医師会連合主催：マリオットアソシアホテル)

柵木会長より、中部医連の代表質問・個人質問について説明された。文言に苦慮したが、財源確保をどうするか、薬価の改定について、確保基金については診療報酬改定財源に重点配分すべきではないかという3点を代表質問として提出すると説明された。

3. 中部医師会連合第2回日医代議員協議会〔6/3(水)〕について

(中部医師会連合主催：マリオットアソシアホテル)

柵木会長より、会議を2回開催し、社会保険特別委員会、介護保険特別委員会、勤務医特別委員会の各委員長にどのようなテーマで議論するか、11月の中部医連の総会で会務の経過を報告していただくスケジュールになっていると説明された。また、代議員協議会のあり方について、次回からは話題を提供し、内容の濃い協議会にしていくことになったと報告された。

4. 日本医師会第4回 病院委員会〔6/5(金)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

伊藤(健)理事より、東京、新潟、山形における地域医療ビジョン策定の経過が報告された。東京では3名の研究者(高橋泰：国際医療福祉大、河原和夫：東京医科歯科大、石川ベンジャミン光一：国立がん研)の講演説明、その他の県は進捗状況についての説明があった。以後、精神科、認知症等の議論があり、厚労省からビジョンは「急性期から慢性期に自主的に変化」を期待する。厚労省として構想区域の適正規模を示すことはしないと報告された。

5. 平成27年度第1回日本医師会医療秘書認定試験委員会〔5/29(金)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

加藤理事より、平成 28 年 2 月 7 日に認定試験を行うことが説明され、平成 27 年度認定試験委員会年間スケジュール、認定試験科目の委員分担、認定試験出題者等について協議したと報告された。愛知県からは、大輪理事、城(義)理事、安藤先生を推薦し、本会の大輪理事、城(義)理事が認定試験出題者に決定されたと報告された。

6. 日本医師会第 4 回医業税制検討委員会 [5/29(金)] について

(日本医師会主催：日本医師会館)

大輪理事より、医療機関等の消費税問題に関する検討会の報告として、「見える化」に向けての論点整理)について、平成 28 年度の医療に関する税制改正要望について検討を行ったと報告された。

7. 日本医師会第 4 回公衆衛生委員会 [5/27(水)] について

(日本医師会主催：日本医師会館)

瀨瀨理事より、厚労省が推進する薬局を中心とする健康拠点事業に対し、日本医師会では地域の健康拠点は、かかりつけ医や地域の医師会が行政や保健所等の連携により、その役割を果たすべきと考えるが、そのための現状把握と提言の基礎資料とするためのアンケートの内容について検討したこと、また、県の委託事業として、他県では見受けられない愛知県医師会の県民サービスの一環である「あいち健康ナビ」について紹介したと報告された。

8. 日本医師会平成 27 年度都道府県医師会医療事故調査制度担当理事連絡協議会 [5/29(金)] について

(日本医師会主催：日本医師会館)

細川理事より、平成 27 年 10 月 1 日より開始される医療事故調査制度について、日医および厚労省から説明があり、ポイントとしては、管理者が予期しなかったものについても医療事故調査・支援センターに報告の義務があると説明された。

6 月、7 月には厚労省が各都道府県の支援団体を公示するということである。また、各都道府県医師会から寄せられた質問・意見等について回答があったと報告された。

【本会関係会議について】

9. 愛知県医師会無線システム災害想定訓練 [6/2(火)] について

(愛知県医師会主催：7 階情報センター)

城(義)理事より、瀬戸市東部を震源とするマグニチュード 7.6 の地震が発生したとの想定で、医師会 14 機関、災害拠点病院 9 機関、基幹病院 5 機関の合計 28 機関が参加して訓練を行なったと報告された。また、無線交信に加え、広域災害システム (EMIS) への入力訓練、メール・FAX での情報収集訓練も併せて行い、概ね滞りなく終了したと報告された。

10. 救急委員会〔6/2(火)〕について

(7階研修室)

城(義)理事より、協議事項では、平成27年度救急医療功労者の愛知県知事表彰者の推薦を地区医師会などに依頼したこと、愛知県医師会 ICLS 研修会を平成28年2月14日に開催する予定であるが、例年の対象は医師のみであったが、今回より看護師も受講可能としたと報告された。

また、第34回救急医療・災害医療シンポジウムを平成28年3月5日(土)に開催する予定であると説明された。

11. 愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会〔5/26(火)〕について

(6階研修室)

加藤理事より、平成27年5月16日に開催した講演会に246名の参加があったこと、平成27年4月分の事例報告・検討を行い、新規事例76事例、継続相談15事例23回の総計102回(歯科3事例含む)について、労災保険終了後の健康保険での治療、死産時の出産育児一時金についても報告された。また、傷病手当金意見書の作成、外来リハビリテーション診療料について協議を行ったと説明され、名古屋大学『明日の医療の質向上をリードする医師養成プログラム』の事業の説明をされた。

12. 治験審査会〔5/29(金)〕について

(601会議室)

加藤理事より、継続審査11件(統合失調症3件、潰瘍性大腸炎・認知症・大うつ病各2件、アルコール依存症・双極I型障害各1件)については、すべて承認されたと報告された。

13. 調査室委員会〔6/2(火)〕について

(5階医師連盟会議室)

大輪理事より、調査室だより原稿について小林委員の原稿を愛知医報に掲載することを決定した。また、決議文について協議し、調査室委員会協議事項のテーマがマイナンバー制度に変更になったこと、第4回医業税制検討委員会について報告を行い、MEDIFAX記事・Twitter投稿記事について解説、意見交換を行ったと報告された。

柵木会長より、新聞の切り抜きコピーからツイッターへ変更したことについて支障ないか質問したところ、調査室では何ら支障もないので現在の形式を続けていくと説明された。

14. 社保指導委員会〔5/26(火)〕について

(801~803会議室)

樫尾理事より、名古屋市区会長の保険指導医の件について厚生局より保険指導医

の委嘱ができないとの回答があったと説明され、それにより特に内科の保険指導医が少なくなることから新規個別指導の立会いに影響が出るため、従来の第一火曜、最終木曜の2回に加え、毎月第二又は第三水曜日も新規個別指導開催日として調整することを提案し了解が得られたと報告された。また、平成26年度個別指導、監査、新規個別指導の実施状況について報告された。

15. 男女共同参画委員会〔6/4(木)〕について

(801 会議室)

伊藤(富)理事より、委員会で報告と協議が順調に行われた後、本委員会と行政の係りについて活発な議論が交わされ、女性医師就労支援事業費の補助金については使い勝手の悪い条項になっているため、次年度は見直していただくよう要望したと報告された。

16. 地域医療再生に関する多職種連携協議会〔5/25(月)〕について

(5階医師連盟会議室)

樋口理事より、イエローカード・システムの改訂のため、イエローカード本体と手引書の見直しがなされたと説明された。また、各職能団体が実施する研修(事例検討など)や今後の多職種連携のあり方などについて意見交換を行ったと報告された。

17. 環境衛生委員会〔6/2(火)〕について

(6階研修室)

瀨瀨理事より、MERS、デング熱、インフルエンザ、感染性胃腸炎等について、健康対策課、衛生研究所より情報提供していただき、対応について意見交換を行ったと報告された。協議事項は結核・感染症対策医師講習会を依頼する地区医師会、感染症・予防接種研修会の開催、新型インフルエンザ等対策業務継続計画細則、予防接種要望額について協議したと報告された。

MERSについては、本日の話題提供で説明したいと発言され、了承された。

伊藤副会長より、新型インフルエンザ等対策業務計画の名称変更については承認をいただきたいと発言され、柵木会長より、次回の理事会協議事項として提出するよう指示された。

18. 医療安全対策委員会〔5/19(火)〕について

(803・804 会議室)

細川理事より、平成27年5月分委員会提出案件11件(新規8件、解決3件)について検討したと報告された。

また、県民向けに1回、医療従事者向けに2回、主にアレルギーについての講演会を開催する予定であると説明された。

19. 在宅医療サポートセンター実務者協議会〔5/29(金)〕について

(9 階大講堂)

野田理事より、各地区医師会の取組状況に関する中間報告、合同会議や実務者研修の今後のスケジュール、サポートセンター業務の周知啓発方法などについて説明された。また、サポートセンター運営に係るアウトカム調査の意義、死因統計の問題点などについてレクチャーを行い、各センターでの積極的な情報収集を要請したと報告された。

20. 講演会・研修会等について

柵木会長より、下記のNo.1~2の本会主催の講習会・研修会等は一括報告とすると発言された。

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
1	5/27(水)	社保集団指導講習会並びに医療安全説明会	558名	樫尾理事
	6/4(木)		368名	加藤理事
2	5/28(木)	産業医研修会	159名	市川理事 西山理事

【行政、その他関係団体等会議について】

21. 愛知県後期高齢者医療審査会〔6/4(木)〕について

(愛知県後期高齢者医療審査会事務局主催：愛知県庁西庁舎)

伊藤副会長より、3件の審査請求について説明され、何れも却下されたと報告された。

22. 平成27年度(公財)愛知腎臓財団第1回理事会〔5/22(金)〕について

((公財)愛知腎臓財団主催：愛知県東大手庁舎)

横井副会長より、平成26年度事業報告(腎臓病患者登録事業、臓器移植普及促進事業等)及び収支決算について報告を受け討議を行ったと報告された。

また、腎臓提供者、腎臓移植が年々減少傾向にあるため、啓蒙・啓発のために予算を執行していると説明された。

23. 愛知県防災会議幹事会〔5/27(水)〕並びに愛知県防災会議〔6/3(水)〕について

(愛知県防災会議(愛知県)主催：三の丸庁舎/名古屋銀行協会)

城(義)理事より、地域防災計画の変更点は、避難行動の章を設置、またL-アラートへの災害情報を提供すること、家庭内備蓄の量を3日分程度から、1週間以上に変更したこと、DPATの設置、愛知県災害多言語支援センターの設置などであったと説明された。防災会議では、火山防災についての講演があり、活火山のない県は20件あり、火山に関する知識普及の重要性が話されたと報告された。

また、伊藤(健)理事より、薬剤の備蓄について質問され、樫尾理事より、投薬制限のない薬剤については問題ないと説明された。

24. 平成27年度 第1回 愛知県名古屋空港飛行場緊急計画連絡協議会 [5/26(火)]
について
(愛知県名古屋飛行場緊急計画連絡協議会主催：県営名古屋空港事務所)
城(義)理事より、平成26年度の訓練では訓練時間が短いとの意見があり、平成27年度は30分長く実施する予定であり、開催日は、11月5日(火)午後2時からとし、模擬患者を昨年度の倍の60人が参加予定であると説明された。また、マスク対応のセクションを作ることとしたと報告された。
25. 平成27年度第1回愛知県周産期医療協議会 [5/29(金)] について
(愛知県周産期医療協議会主催：名古屋第一赤十字病院)
伊藤(富)理事より、愛知県周産期医療の平成26年度事業報告と平成27年度の事業計画及び愛知県周産期医療体制整備計画について協議・報告が行われたと説明された。
26. 一般社団法人 愛知県労災指定医協会 平成27年度 第3回理事会 [6/4(木)] について
(一般社団法人 愛知県労災指定医協会主催：8階会議室)
森理事より、資料により報告された。
27. 県社協第166回理事会 [5/26(火)] について
(愛知県社会福祉協議会主催：愛知県社会福祉会館)
樋口理事より、平成26年度事業報告等、第1号議案から第5号議案について協議したと報告された。

【その他事項について】

28. 税務署からの照会に関する回答について
市川理事より、名古屋東税務署より、本会会員(個人開業→法人化へ移行)の会員種別、入会金等について照会があった。税務署の意図は不明であるが、国税通則法第74条の2(平成23年12月2日改正、平成25年1月1日施行)以下に規定されている「質問検査権」を根拠に、税務署が納税者に対して行う税務調査の、反面調査と呼ばれるものと考えられると説明された。今回は、本会顧問弁護士と協議の上、必要最小限度の回答をするが、今後についても同様に対応していく考えであると発言され、国税通則法の改正により、今後もこのような照会が増える可能性があるということで、本事例について報告された。
29. その他

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成27年6月11日